

県鶴を卒業するあなたへ 人生の先達より一言。

ご卒業おめでとうございます。

24000 人を超える同窓会への入会を心より歓迎いたします。

ヒトは当たり前前に接している日常の素晴らしさを感じることは難しいのですが、自主自立の校是のもと過ごした自由な3年間の県鶴ライフはいかがでしたか??卒業して他校の卒業生と接した時に、自由度の高かった県鶴ライフの素晴らしさが思い出されてくると思います。

新型コロナという未曾有の中での門出となりましたが、あなたはどのように感じていますでしょうか??私の目には第二次世界大戦以来の大きなパラダイムシフトの真っ只中への門出のように映ります。

すなわち旧来の社会の仕組みが役立たなくなり、新たな仕組みづくりの真っ只中への門出のように見えます。これまでは、人が集まることが全ての基本になっている社会でした。学校や会社、地域社会においては、まずは集まって何かをすることが当たり前でした。しかし、この新型コロナは「三密を避ける」という言葉で、人の集まることを否定してしまいました。太古の昔から生きるために群れを作り協力してきたのがホモサピエンスです。群れることがDNAレベルで染み付いています。コロナで群れることを否定されてしまい、困惑と混乱が見られます。幸いITCのインフラのおかげで、リアルで群れることはできずとも、ITCのインフラ上で様々なコミュニケーションを取ることで対応してきています。ITCに限らず、今は想像することすらできない新しい仕組みが生まれてくるでしょう。しかし、新しい社会の仕組みは私どもOB/OGにはハードルが高く、ついてゆくことすら厳しいところがあります。今まさに新しい世界へ踏み出そうとしているあなたがこれからの社会の仕組みを作ってゆくことになります。これは、70年以上前の戦後の復興期が若い人々によってなされてきたことも想起させます。

いつも「夢・希望・目標」を持ち、「たゆまぬチャレンジ」を繰り返すことで壁を乗り越え、道は開けていくと信じています。明けない夜はない。過ぎ去らない嵐はないと先人も言っています。あなたのチャレンジが新しい時代を切り開いて行きます。時には、思ってもいないことに出くわし、戸惑うかもしれませんが、それを乗り切ってゆく力も3年間の県鶴ライフであなたは身につけてきたのではないのでしょうか??

県鶴の卒業生は開校以来一人ひとりが社会の中核を形成し、その発展を支えてきています。皆さんもぜひその一員となってこれからの世界を支えるひとりになってくださることを期待して卒業を迎えたあなたへの贈る言葉とします。

2021年3月3日
神奈川県立鶴見高等学校
同窓会役員一同